

職員からのメッセージ



A 検察事務官（出身庁：広島地検）

ひとこと

いざ！！
海外旅行へ！！



【現在の職務内容】

私が現在所属している会計課主計係では、主に予算の管理、罰金等の徴収事務、通訳人や講師等に対する報酬・謝金の支払いをする諸謝金事務、職員の出張や研修にかかる旅費事務等を行っています。

検察庁といえば捜査や公判というイメージだと思いますが、会計課のように事務局部門の仕事も沢山あり、業務内容も様々で、一つの組織にいながら沢山の業務を経験することができます。

【検察庁に入った理由】

検察庁ならではの特殊な仕事内容に惹かれて入庁しました。

取調べや収容業務等、他官庁では経験できない業務がたくさんあり、事件に対して最初から最後まで携わることができるのも検察庁だけで、責任とやりがいのあるかっこいい仕事だなと思いました。

【検察庁のここがいい！◎】

お堅いイメージのある検察庁ですが、入ってみると気さくで接しやすいばかりです。

また、検察庁はワークライフバランスの推進にも力を入れており、私も仕事の都合を見ながら、自分の予定に合わせて早出・遅出勤務をしたり、旅行をする等して、趣味に時間を充ててリフレッシュしています。

研修制度も充実しているため、法律の知識に自信のない方も入ってから学ぶことができますので安心してください。

業務説明会は、パンフレットには載っていない職場の雰囲気を感じることができ、実際に働いている職員に様々な質問をすることができるため、少しでも興味があれば参加していただきたいです！

\\ いいなと思ったらぜひ検察庁へ！ //



職員からのメッセージ



B 検察事務官（出身庁：広島地検）

ひとこと

仕事と育児に
日々奮闘中です。



【現在の職務内容】

現在は、企画調査課教養係で勤務しています。

教養係では、検察庁職員に必要な知識・技能などを習得させるための研修を計画・実施・運営したり、研修に参加させる職員を選定をしたりするなどの業務を行っています。

【地検との違い】

地検は各都道府県庁所在地などに置かれており、中国地方では各県（広島、山口、岡山、鳥取、松江）に置かれています。

一方、高検は、各地方の各県に所在する地方検察庁を統括する管区機関であり、地検とは異なり、中国地方では広島にしかありません。

また、研修担当の業務においては、高検では、自庁の職員を対象にした研修を計画・実施することもあります。前記のとおり、中国地方を統括する管区機関として、主に管内の各地検に所属する検察事務官を対象とした地方研修を計画・実施・運営するなどしています。

そのほか、中央や他機関などで実施される検察官・検察事務官を対象とした研修について、管内の地検から参加させる研修員を選定することも、高検ならではの業務といえます。

【メッセージ】

私は、高校を卒業して入庁したため、入庁前までに一切法律についての知識がなく不安でしたが、検察庁は、入庁後間もなくして実施される初等科研修などの各種研修制度が充実しているため、全く心配する必要はありません。

また、「検察庁」というと堅い印象を持たれがちですが、温かく優しい人が多く、周りの上司や先輩方が丁寧に指導して下さいますし、チームで仕事をしている実感を強く感じることができる職場環境です。

優しい先輩方が皆さんの入庁を待っていますので、興味のある方は是非検察庁に飛び込んでみてください！